

ひろば

Vol.133
HIROBA

発行日：2016.12. 1 発行人：田沼 武能
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 TEL & FAX 03-5371-2732 (事務局)
<http://www.kougei-dousoukai.jp> dousoukai@kougei-dousoukai.jp (受信専用)

特集・東京工芸大学同窓会 創立90周年記念大会



同窓会 創立90周年を終えて

東京工芸大学同窓会 会長 田沼 武能



同窓会会員の皆さま、創立90周年を迎えましたこと、誠にありがとうございます。

90年もの間、全く無事に経緯したとは申せませんが、関東大震災、第二次世界大戦などで焼失した中、その都度、学校の立ち上

げにご尽力下さった理事の方々や教授、関係者の皆さまに、厚くお礼申し上げます。

私は不幸にして、第二次大戦で焼失した学校の仮校舎に入学しました。淀橋にあった小西六写真工業の青年学校・職業訓練所をお借りしての授業でした。暗室は釘の穴だらけで、3分も経たぬうちに隣人の顔がはっきり見える位でしたが、感度の低いフィルムだったから感光しなかったのでしょう。授業の休講も多く、晴の日は庭でテニス、雨の日は教室に入りますが、雨漏りのため教室内でも傘をさす有様で、これでも専門学校と言えるのかという状態でした。

その3年制の学校が2年制になり、新聞社の就職試験が受けられなくなりました。それまでは本校の卒業生は新聞社に強く、写真部員の過半数は本校の出身者でした。しかし、その後の努力が実り、お陰様で4年制大学となり、今回90周年を迎えることができましたことに、大変喜んでおります。

同窓会は、東京工芸大学が成立して初めて同窓会として機能するのです。学校が無ければ、同窓生も生まれません。母校があつての話なのです。近年完成した校舎にはパソコンも数百台が並び、とても終戦後の学校とは比較にならぬほどの進化です。

私は、大学が良き運営をなされ、沢山の受験生が集まり、学生同志が切磋琢磨することにより学校は隆盛になると考えます。活気のない学校には良い学生は集まりません。本校は新しい学科も増え、今では毎年500名以上の卒業生が社会に進出しております。

これらは大学の理事長を始め、理事の各位や教職員の方々のお蔭と、深く感謝いたしております。

さて、同窓会は学校とは異なり独立した会ですが、運営するのは卒業生です。かつて同窓会会費が集まらないのを理由に、同窓会の運営を休止した時期がありました。再開してから十数年になりますが、まだ以前の様な活気を取り戻してはおりません。今の悩みは、地方を掌握して下さる支部長さんの基盤確立と、新設された学科からの同窓会理事の選出です。私の願いは、なるべく昔からの風習である写真学科系へのお任せを止め、夫々の新学科の方々による同窓会運営への積極的参加です。

各年代により卒業生の意識は変わります。その意見を全員一致にすることは困難かも知れませんが、ある程度の方針が決まってくることを望んでおります。口を出すと手も出さなければならないので、物言わぬ人も多いようですが、出し惜しみをせずに参加して頂きたいと思っております。

現在は、仕事が手一杯で、他のことを考える余裕がないのかも知れませんが、しかし、ある年齢になると、仲間が欲しくなるのも事実です。

創立90年の行事は終わりました。次は100年目の創立記念日を迎えることとなります。

90周年以上の内容のある式典にしようではありませんか。そのためには、皆さまのご協力が必要です。

そして、これに向かって前進あるのみです。頑張りましょう。

同窓会 創立90周年 祝辞

東京工芸大学 理事長 岩居 文雄



東京工芸大学同窓会が創立90周年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。本学は第1期生が20数名で始まり、現在までに芸術学部、工学部の2つの学部構成で、素晴らしいユニバーシ

ティーへと発展し、合わせて5万名ほどの先輩を輩出してまいりました。本学をここまで導いたのは、紛れもなく同窓会のご支援の賜と深く胸に刻んでおります。

さて、本学の中野キャンパス並びに設備の整備が完了し、学生の学習環境が確然と改善されたことと自負しています。今後は厚木キャンパスの整備についても現在、準備を進めている段階です。

卒業生の活躍の一例として、今年3月に卒業された佐々木麻衣子さんの研究作品が第57回科学技術映像祭で内閣総理大臣賞を受賞しました。この賞は、その多くがプロの作品で占められておりました。そのようななかでの今回の受賞は、本学の教育・研究水準の高さを社会に示すことができたのではないかと考えております。

本学のルーツである写真、印刷、工学といった学問分野に根ざし、今日の芸術学部と工学部の両学部に通ずる全学的な取り組みに力を入れ、教員と学生が一体となってその成果の情報を発信し、本学ならではの研究にも一層力を入れ、本学の大学としてのブランディングアップに取り組んで参る所存です。そのためにも、本学と同窓会がこれまで以上に協力、連携を深めていくことが求められます。最後に東京工芸大学同窓会の発展を願って祝辞とします。

同窓会 創立90周年 祝辞

東京工芸大学 学長 義江 龍一郎

東京工芸大学同窓会創立90周年記念大会の開催、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、本学は1923年(大正12年)に小西写真専門学校を前身として開校されました。当時、本学は文部省から卒業生に対し「写真学士」の称号を与えることを認められました。本来は大学の卒業生に与えられる学士号を専門学校の卒業生に与えたということは、本学の優れた教育の証であり、誠に誇らしいスタートであったと言えます。第1期の卒業生が送り出された後、東京工芸大学同窓会の前身として「東京写真学士会」が設立され、大学の変遷とともにその名称を変えつつも、脈々とその当時の精神が受け継がれ、現在では会員総数22,000人を超える同窓会へと発展を遂げられております。

私は、この4月に学長に就任いたしました。学長としての方針のひとつとして「真の工・芸融

合」を目指すことを宣言いたしました。具体的には、本学ならではの独自色を大きく打ち出す全学的な研究テーマとして「色」を取り上げ、国内の大学で唯一の「色の国際科学芸術研究拠点」を形成することです。



本学はこれからも卒業生の皆様に恥じぬよう、より魅力ある大学を目指し、教職員が一丸となって邁進してまいりたいと考えております。その実現は、同窓会の皆様のお力添えなくして果たせるものではございません。

最後になりましたが、東京工芸大学同窓会創立90周年記念大会にあたり、同窓会のますますのご発展を心より祈念申し上げます。

「偉大な先人科学者に学び、これからの科学を考える」

…光に関与したニュートンやアインシュタインを例にして…

東京理科大学 学長 藤嶋 昭 (工学博士)

私は1966年から東京大学の菊池真一先生、本多健一先生のもとで光触媒の研究を始めて50年になります。ここではまず光触媒の研究について、そのスタートの時から現状について説明させていただきます。そのあとで偉大な科学者についてお話しさせていただきます。

「光触媒」とは、光(紫外線)があたると触媒になる物質のこと。その正体は、酸化チタン。強力な酸化力を使って、水を分解でき、有機化合物や細菌などの有害物質を無害なものに変えてしまいます。この光を当てた酸化チタンが物質を分解する機能は「酸化分解力」とよばれています。さらに、光を当てると、酸化チタン上の水が薄い膜状に広がる「超親水性」によって、汚れを剥がすように洗い流す「セルフクリーニング効果」が発揮されます。酸化チタンによる光触媒の技術は、すでに身のまわりの様々な製品に使われています。その一例が住宅の外装材です。光触媒コーティングが施された外壁や窓ガラスは、太陽光で汚れが自然と分解され、雨が降るたびにセルフクリーニング効果で汚れが洗い流されるため、家のメンテナンス費用や手間を大幅に減らすことができます。家の中でもトイレやキッチンのタイル、鏡などに光触媒が使われ、最近では空気清浄機やエアコンの送風にも、光触媒で細菌の繁殖や臭いを抑える技術が導入されています。他にも、曇らない自動車のサイドミラー、油膜が付きにくいトンネル内照明カバー、防臭・防カビ加工のカーテンや衣類など光触媒は多岐にわたる産業分野で応用され、その市場は1,000億円規模ともいわれています。

次に、私が参考にさせていただいてきた偉人の方々を御紹介します。ルネッサンス時代の彫刻家であるイタリアのミケランジェロが、バチカン宮殿にあるシスティーナ礼拝堂の壁の絵にキリストの一生を描きました。サン・ピエトロのピエタの

彫刻も代表作です。フィレンツェ生まれのミケランジェロが1564年に亡くなると、その年にガリレオが生まれます。ピサの斜塔の人です。そして、ガリレオは、はじ

めて望遠鏡で月を見、木星を見、木星に四つの惑星があることを見つけ、天動説を唱えて宗教裁判にかかります。1642年にガリレオが亡くなります。この年にイギリスにアイザック・ニュートンが生まれます。22歳のニュートンの凄さです。太陽の光を分けましたし、虹がなぜ7色であるかを説明し、重力を解明し、微分積分学を確立しました。

もう少し時代をくだりまして、モーツァルトが音楽の歴史を変えました。そのモーツァルトが亡くなった1791年に誰が生まれたか。私の一番尊敬する研究者、マイケル・ファラデーがイギリスに生まれます。そして電磁誘導など素晴らしい成果を残します。70歳の時の退官講義、ロウソク1本がどうやって燃えるかについて、1時間の市民講座を6回連続で行いました。いわゆる、ロウソクの科学です。そのマイケル・ファラデーが1867年に亡くなると、マリー・キュリーが生まれ、豊田佐吉も生まれます。夏目漱石が生まれます。そして12年後にアインシュタインが生まれます。1879年です。アインシュタインは一般相対性理論、特殊相対性理論を発表し、そして重力波を预言します。最近、私は中国の古典に凝っていて、論語を中心にしてまとめているのですが、論語の中に素晴らしい言葉があります。「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。」…です。



2016年 ホームカミングデー

2016年9月3日、同窓会90周年記念大会に合わせて、「第7回ホームカミングデー」が開催されました。90周年の式典・講演会に引き続き執り行われ、今年の顕彰者(41期以前・66期)は合わせて67名でした。壇上で顕彰者を代表して、南川 三治郎様(41期)と栗田 耕一様(66期)に、義江 龍一郎学長より学友記が贈呈されました。



支部のさらなる活性化を…第4回全国支部長会議開催

東京工芸大学同窓会の現在の総登録会員数は22,800名ですが、平成10年を起点として19回目を迎えた芸術学部の卒業生は合計8,470名で、卒業生全体の4割を占めるに至っています。そしてこの組織としては、国内に33支部、海外の韓国に1支部の計34支部で成り立っています。

このような背景の下、第4回全国支部長会議が、創立90周年記念大会の翌日の9月4日に、母校の中野キャンパス・芸術情報館にて開催されました。

今回の全国支部長会議は、平成18年9月に開催して以来、丁度10年目に当たりますが、冒頭に田沼会長から「昨日開催の創立90周年記念式典や行事は、皆さまのご尽力により成功裏に終了することができました。また、藤嶋 昭先生のご講演も、有意義で興味深く拝聴されたものと思っております。そのような中で、参加者が今ひとつ伸びない若い世代について、今後如何に呼び込みを推進するか、また次代を担って貰うために、どう育

成していくのが…今日の会議では、これらについてご討議いただきたい」との挨拶がありました。

この後、田村総務委員長の司会の下、全出席者の紹介が行われ、続いて川名理事長の主導にて、各支部の活動状況やその成果、同窓会全体の活性化促進策などについて活発な意見の交換が行われました。また本部からは「今後の活性化推進の一環として、同窓生の7割強が首都圏近郊で活躍していることに着目し、また卒業制作展が今年度、中野キャンパス内で計画されていることも絡めて、今後は首都圏内での行事にも重きを置き、企画実施していきたい。その一方、現在の支部会については、今後も継続の努力をお願いしたい」との提案が了承され、全国支部長会議は当初の目的を達成することができました。最後に、細江副会長が閉会の辞を述べ、4時間に亘った会議を終了しました。



東京工芸大学同窓会 創立90周年記念大会

東京工芸大学同窓会の創立90周年記念大会が9月3日、中野キャンパスで盛大に開催されました。記念式典では、奥田 昇 副会長による開式の挨拶で始まり、田沼 武能 会長の挨拶、来賓として東京工芸大学理事長・岩居 文雄氏、同学長・義江 龍一郎氏、工学部同窓会会長・岩田 浩氏、女子短期大学部同窓会 華輪会会長・宮永 悦子氏の祝辞と続き、川名 晴美 理事長の閉会の言葉で厳粛な式典が終了しました。

この後、東京理科大学学長の藤嶋 昭先生を講師に迎えて記念講演会が開催され、先生が長年にわ

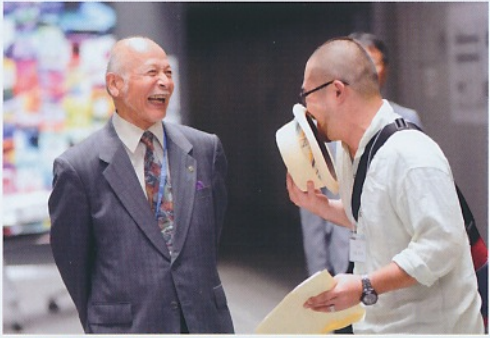
たり研究し続けている「光触媒」の話や、偉大な先人科学者の話など、興味深い内容で241名の参加者を魅了しました。

続いて第7回ホームカミングデーが開催された後、会場を移して記念祝賀会が開催されました。

大澤 登 副会長による開会挨拶、前学長 若尾 真一郎 先生による乾杯のご発声で始まった会では世代を超えた仲間達と談笑の輪が広がり、思い思いに90周年を祝う光景が繰り広げられました。

立川 宏司 専務理事による中締めのおとも名残りを惜しむ人々の歓談がしばし続きました。





≡ 新評議員候補者発表も…平成28年度 理事・評議員会開催 ≡

平成28年6月27日(月)、平成28年度 理事・評議員会が開催されました。昨年度同様、会場は中野キャンパスでの開催となりました。芸術情報館大会議室において会議が行なわれ、冒頭の田沼会長の挨拶の中で、事務局の体制が変更になったことと、いよいよ9月に90周年記念大会が開催されることの報告がありました。理事・評議員会の議事は滞りなく進行し、今年3月の卒業生から選出された4名の新評議員候補者も発表されました。

● 理事・評議員会議事

- 第1号議案 平成27年度 各委員会事業報告
- 第2号議案 平成27年度 決算報告ならびに監査報告
- 第3号議案 平成28年度 各委員会事業計画(案)
- 第4号議案 平成28年度 予算書(案)
- 第5号議案(報告) 平成28年度 同窓会会長賞 候補者
- 第6号議案(報告) 平成28年度 芸術学研究科奨学金 候補者
- 第7号議案(報告) 平成28年度 学部奨学金 候補者
- 第8号議案(報告) 東京工芸大学同窓会創立90周年記念大会
- 第9号議案(報告) 東京工芸大学同窓会 全国支部長会議
- 第10号議案(報告) 平成28年度 評議員候補者

● 新評議員

- 【写真学科】 武者 愛由香
- 【インタラクティブメディア学科】 関根 葵
- 【アニメーション学科】 中山 大輔
- 【ゲーム学科】 並木 勇人



2015年度(平成27年度) 東京工芸大学同窓会 決算書

＜自：平成27年5月1日～至：28年4月30日＞

【一般会計】

(単位：円)

収入の部			
科目	予算額	決算額	
1 会費	23,700,000	24,440,000	
1. 本部会費	23,700,000	24,440,000	
2 雑収入	2,000	1,996	
1. 預金利息	2,000	1,996	
2. その他	0	0	
3 前期繰越	1,598,435	1,598,435	
1. 預金	1,598,435	1,598,435	
合計	25,300,435	26,040,431	

支出の部			
科目	予算額	決算額	
1 事業費	17,180,000	13,889,460	
事業委員会	3,600,000	3,475,758	
1. 卒業祝賀会	2,300,000	901,948	
2. 会報制作費	2,700,000	1,103,457	
3. 会報発送費及び作業費	600,000	533,520	
4. えんのき印刷発送費	1,200,000	1,894,698	
5. HP維持管理費	200,000	161,295	
6. ひろばアーカイブ作業費	1,100,000	825,766	
7. 会合費(理事会・理事評議員会)	400,000	343,660	
8. 交通費(理事会・理事評議員会)	1,600,000	1,600,000	
9. 学部生奨学金	500,000	500,000	
10. 芸術学研究科奨学金	800,000	800,000	
11. 同窓会長賞	800,000	800,000	
12. 校友会活動助成金	300,000	300,000	
13. 総務委員会積立	500,000	297,520	
14. 支部活性化助成費	400,000	181,838	
15. ホームカミングデー対策費	180,000	180,000	
16. 名簿作成準備費	330,000	189,584	
2 会議費	180,000	113,404	
17. 会議費	150,000	76,180	
18. 交通費	2,060,000	3,644,991	
3 管理費	40,000	34,685	
19. 通信費	350,000	423,200	
20. 交通費	250,000	181,896	
21. 事務費	50,000	136,330	
22. 印刷費	40,000	2,559	
23. 慶弔費	1,250,000	2,807,975	
24. 事務局運営費	30,000	58,346	
25. 備品購入費	50,000	0	
26. 予備費	5,000,000	5,000,000	
4 特別会計	5,000,000	5,000,000	
27. 基本財産(積み立て)	24,570,000	22,724,035	
小計	730,435	3,316,396	
次年度繰越金			
合計	25,300,435	26,040,431	

2016年度(平成28年度) 東京工芸大学同窓会 予算書

＜自：平成28年5月1日～至：平成29年4月30日＞

【一般会計】

(単位：円)

収入の部			
科目	27年度決算額	28年度予算額	
1 会費	24,440,000	24,000,000	
1. 本部会費	24,440,000	24,000,000	
2 雑収入	1,996	2,000	
1. 預金利息	1,996	2,000	
2. その他	0	0	
3 前期繰越	1,598,435	3,316,396	
1. 預金	1,598,435	3,287,448	
2. 現金	0	48,948	
合計	26,040,431	27,318,396	

支出の部			
科目	27年度決算額	28年度予算額	
1 事業費	13,889,460	15,820,000	
事業委員会	3,475,758	3,600,000	
1. 卒業祝賀会	901,948	3,000,000	
2. 会報制作費	1,103,457	2,400,000	
3. 会報発送費及び作業費	533,520	500,000	
4. えんのき印刷発送費	1,894,698	120,000	
5. HP維持管理費	161,295	120,000	
6. ひろばアーカイブ作業費	825,766	1,000,000	
7. 会合費(理事会・理事評議員会)	343,660	400,000	
8. 交通費(理事会・理事評議員会)	1,600,000	1,600,000	
9. 学部生奨学金	500,000	500,000	
10. 芸術学研究科奨学金	800,000	800,000	
11. 同窓会長賞	790,000	800,000	
12. 校友会活動助成金	300,000	300,000	
13. 総務委員会積立	297,520	300,000	
14. 支部活性化助成費	181,838	200,000	
15. ホームカミングデー対策費	180,000	180,000	
16. 名簿作成準備費	189,584	330,000	
2 会議費	113,404	180,000	
17. 会議費	76,180	150,000	
18. 交通費	3,644,991	3,930,000	
3 管理費	40,000	34,685	
19. 通信費	423,200	300,000	
20. 交通費	181,896	200,000	
21. 事務費	136,330	100,000	
22. 印刷費	2,559	40,000	
23. 慶弔費	2,807,975	3,000,000	
24. 事務局運営費	58,346	150,000	
25. 備品購入費	0	100,000	
26. 予備費	5,000,000	5,000,000	
4 特別会計	5,000,000	5,000,000	
27. 基本財産(積み立て)	22,724,035	25,000,000	
小計	3,316,396	2,238,396	
次年度繰越金			
合計	26,040,431	27,318,396	

【別途積立・総務委員会会計】

(単位：円)

収入の部		
27年度予算額	決算額	
1. 前期繰り越し残高	7,843,140	7,843,140
2. 預金利息	2,000	1,240
3. 一般会計より繰り入れ	300,000	300,000
合計	8,145,140	8,144,380

支出の部		
27年度予算額	決算額	
1. 90周年記念事業準備費	150,000	186,767
合計	150,000	186,767

資産残高(次年度繰越)		
27年度予算額	決算額	
差引残高	7,995,140	7,957,613

収入の部		
27年度予算額	決算額	
1. 前期繰り越し残高	9,587	9,587
2. 預金利息	0	0
3. 一般会計より繰り入れ	0	0
小計	9,587	9,587

支出の部		
27年度予算額	決算額	
証明書発行手数料	0	432
小計	0	432

三井住友銀行 残高証明発行用口座 次年度へ繰越		
27年度予算額	決算額	
差引残高	9,587	9,155

収入の部		
27年度予算額	決算額	
1. 前期繰り越し残高	8,935	8,935
2. 預金利息	0	0
3. 一般会計より繰り入れ	0	0
小計	8,935	8,935

支出の部		
27年度予算額	決算額	
証明書発行手数料	0	540
小計	0	540

三菱東京UFJ銀行 残高証明発行用口座 次年度へ繰越		
27年度予算額	決算額	
差引残高	8,935	8,395

【別途積立・名簿委員会会計】

(単位：円)

収入の部		
27年度予算額	決算額	
1. 前期繰り越し残高	14,211,956	14,211,956
2. 預金利息	3,000	2,263
3. 一般会計より繰り入れ	180,000	180,000
合計	14,394,956	14,394,219

支出の部		
27年度予算額	決算額	
1. 不明者調査費	190,000	137,580
2. 本部データ管理費	170,000	22,840
3. 郵便料金後納	20,000	11,993
4. 通信費	0	2,610
合計	380,000	175,033

名簿委員会会計 次年度へ繰越		
27年度予算額	決算額	
差引残高	14,014,956	14,219,186

収入の部		
27年度予算額	決算額	
1. 前期繰り越し残高	140,221,197	140,221,197
2. 預金利息	20,000	25,549
3. 一般会計より繰り入れ	5,000,000	5,000,000
合計	145,241,197	145,246,746

支出の部		
27年度予算額	決算額	
合計	0	0

資産残高(次年度繰越)		
27年度予算額	決算額	
差引残高	145,241,197	145,246,746

預金内訳		
27年度予算額	決算額	
1. みずほ銀行中野坂上支店	xxxx297	71,051,364
2. 三菱東京UFJ銀行中野支店	xxxx666	28,563,830
3. 三井住友銀行中野坂上支店	xxxxx439	45,631,552
合計		145,246,746

【別途積立・総務委員会会計】

(単位：円)

収入の部		
27年度決算額	28年度予算額	
1. 前期繰り越し残高	7,843,140	7,957,613
2. 預金利息	1,240	1,000
3. 90周年記念大会会費	0	400,000
4. 一般会計より繰り入れ	300,000	300,000
合計	8,144,380	8,658,613

支出の部		
27年度決算額	28年度予算額	
1. 90周年記念事業運営費	186,767	500,000
2. 90周年記念大会開催費	0	4,000,000
3. 支部長会開催費	0	2,000,000
合計	186,767	6,500,000

総務委員会会計 次年度へ繰越		
27年度決算額	28年度予算額	
差引残高	7,957,613	2,158,613

収入の部		
27年度決算額	28年度予算額	
1. 前期繰り越し残高	9,587	9,155
2. 預金利息	0	0
3. 一般会計より繰り入れ	0	0
小計	9,587	9,155

支出の部		
27年度決算額	28年度予算額	
証明書発行手数料	432	500
小計	432	500

三井住友銀行 残高証明発行用口座 次年度へ繰越		
27年度決算額	28年度予算額	
差引残高	9,155	8,655

収入の部		
27年度決算額	28年度予算額	
1. 前期繰り越し残高	8,935	8,395
2. 預金利息	0	0
3. 一般会計より繰り入れ	0	0
小計	8,935	8,395

支出の部		
27年度決算額	28年度予算額	
証明書発行手数料	540	600
小計	540	600

三菱東京UFJ銀行 残高証明発行用口座 次年度へ繰越		
27年度決算額	28年度予算額	
差引残高	8,395	7,795

「同窓会長賞表彰式・同窓会奨学金授与式」開催

平成28年6月27日(月) 理事・評議員会の会議終了後、2号館地下1階ブレイス(学食)に会場を移して「同窓会長賞表彰式および同窓会奨学金授与式」が執り行われました。受賞者の中には「雪だるま」や「ロボット」の着ぐるみで登場する学生

もいるなど、会場は大いに盛り上がりました。記念写真撮影に引き続き、細江副会長の乾杯の発声により懇親会が始まり、参加者が和気あいあいと懇談し楽しいひとときを過ごすことができました。

平成28年度東京工芸大学同窓会長賞

学科	学年	氏名
写真学科	4	瀧澤 優理子
映像学科	4	鈴木 康平
デザイン学科	4	塚本 小雪
デザイン学科	4	東本 貴樹
インタラクティブメディア学科	4	インタラクティブアート研究室 代表者：加藤 宜子
アニメーション学科	4	橋本研究室 代表者：松下 秀男
マンガ学科	4	丹沢 真波
ゲーム学科	4	ネットワークゲーム研究室 代表者：永島 拓哉

平成28年度東京工芸大学同窓会芸術学研究科奨学金

専攻	学年	氏名
メディアアート専攻博士前期課程	1	LÉE SŪ HYEON
メディアアート専攻博士前期課程	1	LÉE JIWOON

平成28年度東京工芸大学同窓会芸術学部奨学金

学科	学年	氏名
写真学科	3	矢島 岳
映像学科	3	村上 史明
デザイン学科	3	高橋 紗矢華
デザイン学科	3	山野 雄大
インタラクティブメディア学科	3	李 有珉
アニメーション学科	2	XIA ZHIQI
マンガ学科	3	西村 陽香
ゲーム学科	2	三角 理沙



2016 フォックス・タルボット賞

2016フォックス・タルボット賞は9月30日に審査が行なわれ下記の方々を受賞しました。



フォックス・タルボット賞は、写真表現に情熱を傾ける若い写真家の登竜門としての役割の他、国際的視野をもった写真家を育成することを目的に、1979年東京工芸大学短期大学部に設けられ、今回で第38回を迎えることになりました。

本賞は、ネガポジプロセスの発明者ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット氏(英・William Henry Fox Talbot 1800-1877)の偉業をたたえ、イギリスのフォックス・タルボット美術館のご協

力をいただき、氏の名前を冠した賞となっております。

本年度の応募者は33名、応募作品数は48点でした。

第一席には、写真学科を2015年3月に卒業した今井知佑(イマイ・トモスケ)さんが選ばれました。生と死、この世とあの世の往還の場として、時代や国と地域の隔てなく存在する「祭り」という人間の営み。インドネシアのバリ島で行われた夜祭を題材にして、この祭りという営み



そのものを抽象化し、写真作品という場での再演を試みる作品です。

文：圓井 義典 准教授

2016 フォックス・タルボット賞 入賞作品発表

第一席	夜祭	今井 知佑	芸術学部写真学科2015年卒業
第二席	中三の春	稲田 圭薫	芸術学部写真学科3年
第三席	KING MOTOR	高田 有輝	芸術学部写真学科2016年卒業
佳作	時の中で	土居原 翔司	芸術学部写真学科4年
佳作	羽	ZHANG YU	芸術学部写真学科1年
佳作	Impression [風]	OH JAEWOONG	芸術学研究科修士2年
佳作	connect	LEE SU HYEON	芸術学研究科修士1年
佳作	Portrait in Light	石川 雄大	芸術学部写真学科2年
モノクロ賞	Real and Realistic	LEE JIWON	芸術学研究科修士1年

審査委員の先生方 田沼武能(委員長) 細江英公 中谷吉隆 立木義浩 小林紀晴 (敬称略)

「同窓生子女特別推薦制度」および「同窓生子女等入学優遇制度」について

(1) 同窓生子女特別推薦制度について

本制度は、本学の歴史・教育方針・研究内容等、本学の良さや校風をよく理解されている同窓生の皆様から、ご子女を推薦していただく入試制度です。本学ならではの良さを伝え聞き、真剣に勉学に取り組む意思を持ったご子女を受験生としてご推薦いただくことを期待しております。

(2) 同窓生子女等入学優遇制度について

同窓生および在学生の関係者を対象に、入学金相当額を免

除いたします。入学対象学部等につきましては、芸術学部・工学部・芸術学研究科・工学研究科となります。対象範囲は同窓生の子女および孫等です。

■(1)(2)の詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

東京工芸大学 入試センター
〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583
TEL 0120-12-5246
FAX 046-242-9638

関西支部総会

平成28年6月25日(土)、関西支部恒例の総会を大阪長堀橋にあります「アークホテル」にて開催し、近畿各地から同窓生が参加しました。

来賓として、東京工芸大学同窓会本部 42期立川宏司専務理事、今年4月より東京工芸大学学長になられた義江龍一郎先生のご出席を頂きました。

38期滝口氏の司会進行で、まず亡くなられました30期真鍋義久氏・41期片山一郎氏・53期山本孝弘氏に黙祷を捧げ、各役員、各地区の活動報告、会計報告、予算案などが審議されました。

来賓講演にて、義江龍一郎学長より「COEと私」のお話を頂き、また立川専務理事より同窓会事務局の近況などのお話を頂きました。

記念撮影の後、懇親会に移り54期金居光由氏の司会、42期篤田 毅氏の乾杯に始まり、時間の経つのも忘れ現役に戻ったように話も弾み大いに盛り上がり、工-24期内海新一氏の中締めで来年の再会を約して散会となりました。



埼玉県支部総会

第3回の埼玉支部の同窓会が、平成28年9月24日さいたま市の浦和ロイヤルパインズホテルで開かれました。本部より大澤副会長、田村専務理事を迎え前回よりやや少ない14名の参加となりました。今回は最近10年間に卒業した300名の新会員にも案内通知を出しましたが、その中で参加は1名だけと寂しい結果となりました。会は奥田副会長の乾杯で始まり、各自の自己紹介・近況が報告され



大いに盛り上がりました。席上35期の豊島支部長より48期の岡田 康右氏に交代の報告がありました。

新潟県支部総会

平成28年9月1日(木)長岡市悠久山公園内レストランで開催されました。始めに長岡市郷土史資料館を見学しました。有名な米1俵の話など多彩な人脈に感心が集まり、山本五十六元帥が長岡の出身と披露されました。

総会は15時30分に始まり小林俊郎(44期)支部長の挨拶と会務報告があり、特に27年度は新津美術館で開催された、「写大ギャラリー開設40周年【土門拳写真展】が入場者5,507名」で盛会であったと報告され、小林支部長から27年度収支報告が会費22名分66,000円あったと報告され、桜井(36期)会計監査より監査報告があり、来年の総会日程を決め終了しました。続いて大澤副会長が同窓会の現状を含めて挨拶し、山内(35期)の乾杯で懇親会に入りました。

懇親会では、阪川(37期)、平賀(41期)、小林康生(44期)、長谷川(56期)、須栗(56期)各位から新潟県支部の強さを感じる、情熱のあるお話がありました。



47期1年Bクラス会

平成28年5月29日(日)晴天の中、いつもと異なる東京湾「船上クルーズ」。豪華客船を思わせる雰囲気の中、田村 寛先生を囲んで20名の参加がありました。毎年、初参加の方もおりうれしい思いです。元気で再会する事を願い、来年は6月25日(日)を予定しております。

渡辺 明美(47期)



|45期同窓会

8月18日、今年も楽しみの同窓会が出来ました。我々45期生は九州・山口のメンバーで毎年夏の期間に集まって、旧交を温めています。今年も10名が熊本に集まり昔話に花が咲き、時間も忘れる程でした。残念ながら病気で参加出来なかった仲間もいますが、40数年ぶりに会う顔もあり、昔の名簿を見ながら考えたり笑ったり、楽しいひと時を過ごしました。来年は別府での再会を約束して散会しました。

中島 光司(45期)



|34期製版科クラス会

平成28年4月20日(水)幹事の遠藤文夫氏の企画で、富士フィルム グローバル グラフィック システムズ(株)の見学会とその後懇親会とを行った。

最初に彫刻型フレキソ製版システムFLENEX DLE Systemを見学した。これは特殊な樹脂版材を製版機に取り付け、ダイレクトレーザ彫刻機にて文字、画像を版材に彫刻しC、M、Y、K、W(白色版)の5版の樹脂凸版をつくり、それらを独自に開発した印刷機にセットして、軟包装材(ロール巻)に高速にカラー印刷ができる。

次にデジタルプレス イノベーション センターに移動して、インクジェット デジタル印刷機Jet Press 720Fのデモンストレーションによるカラー印刷再現工程を見学した。

最後に同センター内の軟包装用LED-UVインクジェット印刷機に案内され、その機構や特徴についての解説があった。以上により富士フィルムの印刷用「最先端技術」の概要を知り、印刷用紙媒体の需要が減少するなか、軟包装用パッケージングの今後の需要拡大を視野に対応していることを、実感した有意義な視察研修会であった。

八方 一治(34期)



|42期同窓会

「シワのなか かすかに残る おさな顔」。参加者の即興の句に、みなが共感した。会場には入学時の顔写真が展示され、自身の変わりように苦笑いも。写真短大での出会いから50年。初の写真技術・印刷・工業科同期会が5月28日、中野キャンパスのプレイスで開かれた。恩師6人を代表して八方先生が、校歌にある「光の園」はレンズを造る炉の煙突を、「みどりの丘」は厚木の田園風景を表現した、と挨拶。それぞれが当時の校舎を思い出しながら旧交を温め、近況を語り合った。新装なったキャンパスや写大ギャラリーでのタルボット展も鑑賞。最近の大学の様子も映像で紹介され、後輩たちの活躍も知った。卒業生490人、住所確認の出来た250人に案内状発送、返信140通、うち出席者は60人。盛況のなか手締めで終宴。仲間同志で2次会に向かった。

山崎 陽一(42期)



|富士フィルム「ナナメ会」

「ナナメ会」とは、富士フィルムとグループ会社のOB・現役社員による企業内同窓会で現在140名の会員がいます。昨年3月に中野キャンパスの施設をお借りして開催しましたが、今年も大学のご好意とご援助を頂き10月1日に開催する事ができました。上田准教授(写真学科)より母校の沿革を含めた芸術学部の進歩発展の歴史をお聞きした後新校舎を見学、2号館のプレイスで懇親会を開き大いに盛り上がりました。

増田 鐵也(36期)

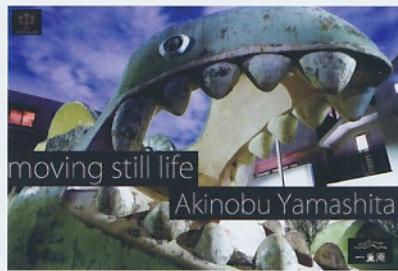


展示会・出版の記録

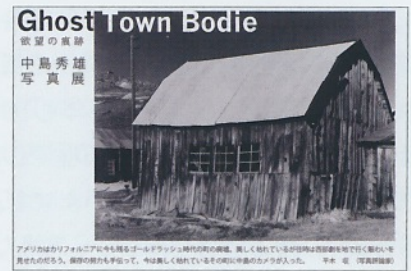
展：展示会名 作：作者 所：場所 期：会期



展：美しく嫉妬する
作：クロダミサト(87期大学院博士前期)
所：神保町画廊
期：2016.07.22-08.07



展：二人展
作：山下 晃伸(82期写真学科)
藤井 光永(83期写真学科)
所：画廊一兎庵
期：2016.06.20-06.26



展：Ghost Town Bodie 欲望の痕跡
作：中島 秀雄(43期写真技術科)
所：ギャラリーイーエム西麻布
期：2016.05.17-06.04



展：人への旅ーキューバ編ー
作：大村 英明(52期写真技術科)
所：コニカミノルタプラザ ギャラリーB
期：2016.10.08-10.17



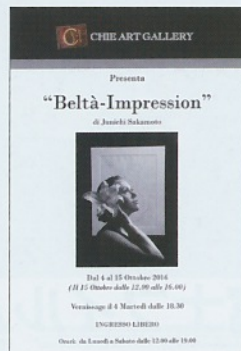
展：伝来消滅
作：小林 紀晴(63期写真技術科)
所：銀座二コソロン/大阪二コソロン
期：2016.05.25-06.07/2016.07.07-07.13



展：TIMESCAPES2016 無限旋律2016
作：広川 泰士(大学院非常勤講師)
所：ESPACE KUU(空)
期：2016.01.08-03.26



展：W.H.フォックス・タルボット
写真展「自然の鉛筆」
所：写大ギャラリー
期：2016.04.18-06.05



展：美・インプレッション
作：坂本 潤一(46期写真技術科)
所：Chie Art Gallery
(イタリア・Milano)
期：2016.10.4-10.15



展：紅べに
作：佐々木 麻衣子監督
(91期映像学科)



展：登山電車ばんざい!!
作：大橋 史明(写真学科3年在学)
所：NARAYA CAFE ギャラリー
期：2016.06.02-06.30

東京工芸大学同窓会90周年記念写真展「90 years」

会期：2016年9月1日(木)～2016年10月2日(日)

場所：東京工芸大学 写大ギャラリー



同窓会90年の歴史の中では、文化の発展に寄与した写真家として、文部科学大臣が選出する文化功労者に、渡辺義雄(3期)、田沼武能(24期)、細江英公(29期)の3名が選出され、また特に期待される新人作家に贈られる木村伊兵衛写真賞を、本城直季(79期博士前期)、高木こずえ(82期)などが受賞するなど、多くの優れた写真家を輩出してきました。同窓会創設90周年を記念し、写大ギャラリー・コレクションとして収集されている卒業生の作品を選抜して展示されました。

東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2017中野校舎開催に向けて

東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2017が、平成29年2月24日から3日間、開催されます。会場は中野校舎となっています。

長らく外部の展示会場で行って来た卒業・大学院修了制作展が、ホームグラウンドに帰って来たということになります。

私は卒業・修了制作展委員会委員長として、この美しくリニューアルされた新校舎での開催には、とても大きな期待を感じています。

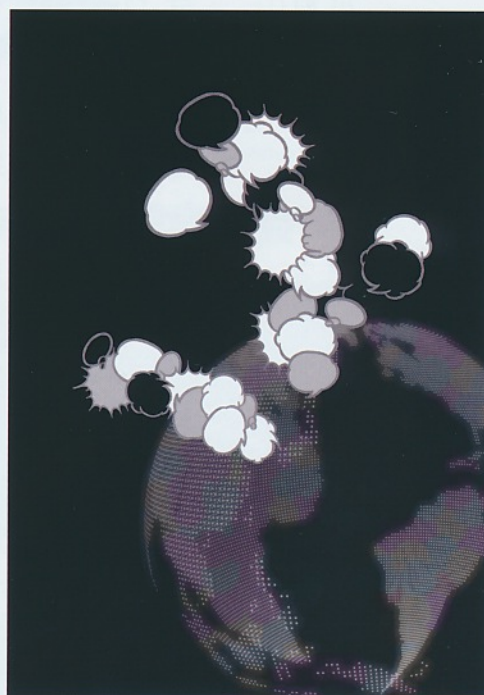
それは、ご来場いただいた保護者の皆様や卒業生達、大学関係者、また一般の方々には、展示作品のみならず、学生達が学んだ環境も合わせてご覧いただけるということと、そして、学生達自身が、自分たちが研鑽を積み、友人達とともに切磋琢磨した場所で4年間の集大成を発表するという事です。

作品制作は、芸術系の大学の最も大切な活動です。その拠点となった母校での発表に、在校生のみならず、きっと多くの人たちが思いを寄せてくれるであろうと思います。

1年間に渡っての研究もいよいよ大詰めに入る頃となりました。卒業・大学院修了制作展が、かならず素晴らしい発表会になると確信しています。

東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展委員会
委員長 田邊 順子 教授

東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2017
メインビジュアル



「echo」 榎本 晃児 (アニメーション学科2年)

東京工芸大学同窓会主催 「卒展×同窓のつどい」開催のお知らせ!!

開催概要

- 開催日 2017年2月25日(土)
- 場 所 東京工芸大学中野キャンパス2号館地下1階「プレイス」(学食)
- 時 間 16:00~18:30

※事前申込不要。時間内出入り自由。

- ◇ 卒業制作展に来場された方はどなたでも入場できます。
- ◇ 同窓生と恩師、後輩達が集う“おしゃべりの場”としてお気軽にご来場下さい。
- ◇ 同窓生の方には記念品を差し上げます

9月上旬に開催された90周年記念式典とホームカミングデーはリニューアルされた中野キャンパス内で開催され、大盛況でした。特にキャンパス内見学では、最新機材で整えられた教室、スタジオ、近代的な校舎など、あまりの変わり様に驚きを覚えた次第です。

そのキャンパスで2月下旬、今期の卒業生による卒業制作展が開催される事になりました。学科も7

学科とふえ、成長いちじるしい後輩達の作品をカテゴリーを超えて一同に観る事ができます。同窓会としては後輩達を激励すると共に、旧交を温める空間を提供しようと企画されたのが「卒展×同窓のつどい」です。メディアアートの総合大学としてリッパになった母校の姿を観ることが出来るのが私にとって今から楽しみにしています。

安達 洋次郎(39期)

計 報

衷心よりお悔み申し上げます。

奥田 舜亮 (13期・本科一研)	松井 昭三 (31期・写真工業科)
小根山 亘 (16期・本科2部)	増田 辰正 (32期・写真技術科)
坂元 正直 (21期・写真化学工業科)	深澤 國雄 (34期・写真工業科)
村井 修 (25期・写真技術科)	吉田 守雅 (34期・写真工業科)
藤 秀雄 (28期・写真技術科)	伊藤 稔夫 (41期・写真技術科)
岩淵 晃行 (30期・写真工業科)	市橋 孝 (41期・写真印刷科)
鈴木 重史 (31期・写真技術科)	金田 智子 (52期・写真技術科)
鈴木 正雄 (31期・写真工業科)	河野 安志 (57期・写真技術科)
東 豊太郎 (31期・写真工業科)	倉橋(佐藤)有紀 (67期・写真技術科)

(敬称略)

名簿作成謝辞

この度は創立90周年記念版の同窓会名簿を発行する運びになり、同窓会の皆様には大変お世話になりました。

本名簿につきましてはA4サイズとし表紙には幡ヶ谷、中野(前校舎)、新中野、厚木校舎の写真を構成し、4頁においては専門学校、短期大学、短期大学部、厚木キャンパス、中野キャンパスの写真構成を行いました。また同窓会90周年沿革史(6、7ページ)及び歴代校長及び学長、専任教員在任表(10~14ページ)を新しい構成と致しました。

以前発行されました2001年の名簿の後に発行

される予定であった名簿につきましては、名簿委員会の会議が数回行われましたが社会的な難しさがあり製作されませんでした。

その後、参議院法制局より「個人情報の保護に関する法律」(2009年6月)が改正され、第四章 個人情報取扱事業者の義務/個人情報保護の体制の下、発刊することができました。

この度作成致しました名簿につきましては、皆様方も個人情報保護に配慮されるよう、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

名簿作成委員：畑 鐵彦、木村 政夫、佐土原 一浩、立川 宏司

編集後記

今回初めて「ひろば」の編集に携わせて頂きました。編集会議でいつも話題になるのは、どういう形で編集したら「ひろば」がより魅力的なものになるのか、ということです。年に2回1万部以上を発送していますが、実際冊子を手にした同窓生の皆さんのうちのどのくらいの人に読んでもらえて

いるのか、感想や印象はどのようなものなのか。90年という同窓会の歴史の中で、読者の年齢層にも大きな幅があります。幅広く多くの同窓生の方楽しんで頂ける同窓会誌の内容とは…? 名案がございましたら是非事務局へご一報ください。

上田 耕一郎(75期)